

小規模多機能型居宅介護事業所

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月1日 (16:00~17:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	阿部達郎 春田智 高木貴史 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 野呂智恵子 西尾トミ子 石本信子 中村千登勢

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1	8	4		13

前回の改善計画	申し送りノートや夕方反省会など、職員間で意見を出していくことで、随時改善されているので、引き続き、他職種間の意見も検討することで、改善に努めていく。また、新型コロナウイルスの影響で、事前情報が少ない事もあるが、できる限り面会や体験をしてもらい、情報収集、情報共有を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	申し送りノートなどの活用は出来ているが、夕方反省会については、送迎や訪問の時間が夕方までかかってしまい、出来なかったことが多くありました。代わりに、新規の話や利用者の対応については、随時職員間で検討する時間を作る事により、意見を出してもらい、対応することができていました。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	10	2		13
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	10	2		13
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	8	1		13
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	7	4		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
サービス開始前にケアマネージャーより情報を書面にしてフロアに上げてもらい、各職員間で情報の共有をすることができました。また、新規の方で開始後もサービス内容をまとめた物を作成をして、各人が確認できるようにし、実際に利用者への声掛けや対応を行う事で何か変更があった場合には、その都度申し送りをして、変更内容を伝える様にしていきました。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
事前に情報をまとめているが、書面だけでは分からない部分があり情報として不足している場合があった。また、コロナ禍のため事前の体験や面談が少ないこともあり、利用者や家族のニーズをすべて確認できないこともあった。日々の業務に追われてしまい、情報の確認が疎かになってしまったり、利用者への声掛け配慮ができていなかったこともありました。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
事前情報については、引き続きケアマネージャーより書面で配布をしてもらい、職員間での情報共有できるようにする。また、利用開始後に事前情報と違って来たことなどについては、情報の更新を随時行っていく。利用者や家族と関わりで得た情報については申し送りをを行い、必要であればその都度、他職種間で検討会議を開いて対応できるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月1日 (16:00~17:00)
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	阿部達郎 春田智 高木貴史 足立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 野呂智恵子 西尾トミ子 石本信子 中村千登勢

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		8	4	1	13

前回の改善計画
ケアプランやモニタリングの確認が担当以外の職員で確認できる様に、専用のファイルを作成し、いつでも確認できるようにしていく。職員配置が曜日によって違いがあり、利用者のニーズに対応できないこともあったため、できるだけ職員配置を均一にして、利用者のニーズに答えられるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
日中の業務が忙しく、担当以外でケアプランやモニタリングの確認をすることが難しかったです。職員配置については、増員もあり均等に配置することができ、利用者のニーズやフロアでのレクリエーションなどに時間に割く事が出来る様になりました。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	7	4	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	6	4	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	8	3	1	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	4	7	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>申し送りノートの活用や職員間での話し合いで、利用者への対応はうまくできていると思います。今年度は、職員の増員もあり職員配置も均等にすることができ、フロアでのレクリエーションなどをできるようになりました。また、家族から昔の事などをケアマネージャーより確認をしてもらい、それを活かした対応も行える様にしました。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>日々の業務や申し送りの量が多く、利用者の数も多いためケアプランやモニタリングまで確認することが難しかった。また、ケアプラン自体を理解していない職員もいるため、意識が欠けてしまっていると思います。フロア会議が1ヶ月に1回の開催のため、それまでに何か変化があった場合にその場の職員で対応を決めてしまう事が多いため、自分の意見が反映されないことが多い。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>日々の業務でケアプランやモニタリングの確認が難しいため、ケアプラン作成後に要点をまとめたファイルを作成し、申し送りと一緒に確認できるようにしていく。また、ケアプランやモニタリングについて理解が乏しい職員もいるため、定期的にケアプランについての研修などを行って行くようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	阿部達郎 春田智 高木貴史 尾立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 野呂智恵子 西尾トミ子 石本信子 中村千登勢
------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	8	4		13

前回の改善計画	利用者の変化に合わせた支援はできているが、引き続き、利用者の気持ちや体調の変化にも気付き、各職員間で情報共有しながら支援していく。職員間の考え方の相違から、支援方法にも違いが出てきているため、夕方反省会やフロア会議などで各職員の考えを確認し、統一した支援ができるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	サービス利用時に、利用者の色々な変化に気付ける様に注意をしながら支援を行い、何か変更がしたい場合は他職員や他職種に報告を行い、その都度検討して対応することができました。また、支援方法の統一を図るために支援内容をまとめ、各人がそれを確認して、サービスを提供することで差異を無くすようにしていきました。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	6	3	3	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	9	1	1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		3	8	2	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	9	2		13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	9	3		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
サービス提供時には、利用者への対応や傾聴を行う事で利用者に合わせて、サービスを提供できるようにしている。もし、サービス内容の変更について話があった場合は、その都度職員間で検討を行い、対応をできるようにしており、また、申し送りをすることで他職員にも伝わるようにしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
職員同士の情報共有が出来ていないため、サービス方法が統一されていないことがあった。利用者によっては、信頼関係がまだ築けていないこともあり本人から聞き出すことが出来ない事もありました。また、職員配置の問題などで、利用者や家族への対応をすぐに行えない場合もありました。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者に合わせて支援については大体できているため、引き続き、体調の変化や気持ちなどに注意しながら支援を行っていく。職員同士の情報共有やケアの統一を図るために、しっかり記録、申し送りを行うようにしていき、何か変更などがあればその都度職員間で検討会議を開いて、情報をまとめるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	阿部達郎 春田智 高木貴史 尾立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 野呂智恵子 西尾トミ子 石本信子 中村千登勢
---------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		10	2	1	13

前回の改善計画	訪問サービスや家族の面会時に、自宅での様子を確認して職員間で情報共有し、支援に繋げていけるようにしていく。家族との協力については、ケアマネージャーを通して支援の相談をして、出来る限り協力してもらえようようにいき、協力が難しい家族については、地域包括支援センターなどの地域資源と連携を図って対応していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍も落ち着き始めたため、ケアマネージャーと家族との面談が増えてきた。施設と家族間で情報共有が以前より出来る様になりました。そのため、サービス内容について検討を行い、より良いサービス提供につなげる事が出来た。ただし、地域資源の活用については、もう少しうまく使える様にできると思いました。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		11	1	1	13
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		8	4	1	13
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	8	3	1	13
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		7	3	3	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
何か必要な事があれば、その都度ケアマネージャーより家族へ連絡を行い、対応することができていました。また、本人と家族との関係が難しい場合には、ケアマネージャーが間に入ることで本人への対応や、家族への相談などを行い、両者が安心して生活できるように対応しています。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源についてある程度理解しているが、活用しきれていない部分が多くあったと思います。家族が遠方であったり、利用者との関係性で難しい部分もあるが、サービス過多になってしまい、家族の協力が得にくい部分が出てきてしまっている。また、自宅での生活スタイルについて情報が少なく、理解することが難しいと思いました。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ケアマネージャーより家族と面台などを行い、何か変更や要望などがあった場合にはその都度申し送りをを行い、情報共有を行うようにしていく。サービスを追加する場合には、利用者や家族、小規模多機能の状況を踏まえて、地域資源の活用も積極的に行っていくようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	阿部達郎 春田智 高木貴史 尾立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 野呂智恵子 西尾トミ子 石本信子 中村千登勢
----------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	10	2		13

前回の改善計画	小規模多機能の特性を活かした柔軟な支援はできているため、引き続き継続していく。利用者とのコミュニケーションや様子などから変化に気付ける様にしていき、申し送りノートなどを活用し職員間で情報共有を行えるようにしていく。また、支援内容については他職種間と連携を図りながら、利用者のニーズに合わせた内容を作成していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	通い、訪問などのサービスから利用者や家族のニーズを気付けるようにして、その都度職員間で検討することで、柔軟に対応できていると思います。ただし、地域資源の活用については、まだ活かさきれていないところがありました。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		7	3	3	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	6	3	1	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	8	3	1	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	9	2	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
サービス利用時の利用者の様子や状況によって柔軟にサービスの変更は行えており、申し送りを行い他職員に情報共有できるようにしています。また、買い物支援や食事の提供など、本人様に必要だと思われる支援については、その都度職員同士で検討をして、提供できるようにしていました。また、市のごみ出し支援(さわやか収集)や宅配弁当についても随時検討して、活用するようにしていました。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
支援の追加について随時検討しているが、情報共有がうまくいかないことがありました。柔軟な支援はできているが、利用者毎の支援の量についてムラが出てしまっていました。また、地域資源の活用はもう少し情報を集めて、色々なアプローチをしても良かったと思います。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
小規模多機能の特性を活かした柔軟な支援については出来ているため、利用者に合わせた対応を継続していく。何か支援の追加や変更したい時には、その都度検討会議を開くようにして、各職員で意見を出し合い、ニーズに合っているのかや内容ややり方が適切かなど検討していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月1日 (16:00~17:00)
6. 連携・協働	メンバー	阿部達郎 春田智 高木貴史 尾立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 野呂智恵子 西尾トミ子 石本信子 中村千登勢

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？		2	10	1	13

前回の改善計画	オレンジプラスカフェは、月1回に変更になりましたが、その分時間をゆっくり過ごせるようになったため、このまま継続して参加していく。コロナ禍が続くため、リモートでのボランティアなど出来る範囲で、地域との連携を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	オレンジプラスカフェは、好評のため引き続き継続しており、仲の良い利用者が一緒に過ごせる様に配慮しています。コロナ禍のため、外部からのボランティアはまだ実施できていませんが、公園などへの外出などは行える様になってきています。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？		2	5	6	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			5	8	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？		1	4	8	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1	3	9	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
オレンジプラスカフェは、月1回へ減ったが、その分時間が長くなり、落ち着いて参加できるようになりました。コロナ禍のため、以前のようにボランティアはまだ来て頂けていないが、職員主体でフラワーアレンジメントや近隣の植物園への外出などは行える様になり、楽しんで頂けています。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
昨年より引き続き、コロナ禍のため地域との各種機関、団体への活動への参加についてはほとんど出来ていない状況でした。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
オレンジプラスカフェについては、月1回になったが時間も好評のため、引き続き継続し、楽しんでもらえるように配慮していく。コロナ禍のため、外部ボランティアは難しいが、職員主体のレクリエーションや公園などへの外出は行えるため、積極的に行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月1日 (16:00~17:00)
7. 運営	メンバー	阿部達郎 春田智 高木貴史 尾立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 野呂智恵子 西尾トミ子 石本信子 中村千登勢

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		9	3	1	13

前回の改善計画

職員間で良い雰囲気で行えているので、引き続き、その雰囲気を保ち意見交換がしやすいように努めていく。地域との関わりについては、コロナ禍ということもあり、直接の交流などはまだ難しいと思うが、リモートなどできる範囲で協力していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

ミーティングの際や当日の現場での役割分担についての意見交換などは、特に問題なくできていると思いました。地域との関わりについては、コロナ禍という事もありほとんど出来ていませんでした。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	7	4		13
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		12		1	13
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		9	2	2	13
④ 地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		3	7	3	13

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

職員同士での意見交換の際に、役職など関係なく色々な意見を出せる環境であり、利用者の状況や申し送りなどから支援に必要な対応ができていました。また、地域包括支援センターから利用者の自宅での様子などが、小規模多機能に連絡が入るようになり地域連携もできるようになったと思います。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

職員同士の考え方の違いについて出勤日数や時間のズレによってうまく意見交換ができない事がありました。地域との協働については、コロナ禍もあり、電話での連絡のやり取りが難しいかできていませんでした。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

役職などに関係なく意見交換ができる環境であるため、その環境を引き続き継続していく。職員間での意見の違いについては、リーダーへ報告してもらい、それぞれの職員の意見を確認して、まとめていけるようにしていく。地域との協働に関しては、電話での繋がりなどで今の関係を維持していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	阿部達郎 春田智 高木貴史 尾立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 野呂智恵子 西尾トミ子 石本信子 中村千登勢
-----------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		3	2	8	13

前回の改善計画	引き続き、コロナ禍が続くため、少人数やリモートでの研修を行うように検討していく。また、事前に勉強したい内容を職員間で聞き取りを行い、それにあった研修があった場合は、優先的に参加できる様に心がけていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍のため、研修などはほとんど参加できませんでしたが、委員会内などの少人数で研修を行い、フロア会議などでフロアに伝えていくといった工夫をして実施していました。外部の研修については、ほとんど参加できていませんでした。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		2	5	6	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1	5	7	13
③	地域連絡会に参加していますか			2	11	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		8	1	4	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
各種委員会内で研修を行い、その内容をフロア会議などで各ユニットへ伝達していくことができていました。また、外部研修も少しずつであるが、実施し参加できるようになった。リスクマネジメントについては、職員一人一人が考えて実施してくれており、何かあればその都度、申し送りやヒヤリハット、事故報告書などで情報共有していました。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
前年度より増えてきたとはいえ、コロナ禍のため外部への研修自体が少なかった。また、当日の職員配置もギリギリで業務を行っているので、参加自体難しいこともありました。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
外部研修も少しずつ増えてきたため、各職員にどんな研修に行きたいか確認をして、行ける様に配慮していく。また、委員会の研修は各委員が出ていたが、委員以外の職員が勉強したい場合は参加できるようにしていく。リスクマネジメントについては、フロア会議などで定期的に研修を開いていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	阿部達郎 春田智 高木貴史 尾立守 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 野呂智恵子 西尾トミ子 石本信子 中村千登勢
--------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	8	4		13

前回の改善計画	プライバシーや個人情報の取り扱い、身体拘束や虐待については定期的に、勉強会や研修を行っていく。整理整頓については、各ファイルや個人記録など多岐にわたるため、棚などの片付けを行い、必要によっては新しい棚の購入を検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者への対応や声かけ、プライバシーの保護についてはその都度、職員間で声をかけあって気をつけるようにしています。各ファイルや記録類に関しては、増えてきてしまったため、ファイルを分類別に分けたり、棚の整理をすることで対応しました。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11	2			13
②	虐待は行われていない	13				13
③	プライバシーが守られている	8	5			13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	3	3	6	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	5	1		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待、プライバシー保護については職員が意識してくれているため、特に問題ありませんでした。また、開設からかなりの時間がたったため、各種書類も増えてきたため、ケアマネージャーを中心にファイルや保管場所の整理も随時行っています。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
整理整頓については、まだまだ改善の余地があるため時間を作って随時できるようにしていきたいと思いました。利用者への声かけについては、たまに不適切な声掛けになってしまっていることもあるので、注意していきたいと思いました。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
身体拘束、虐待、プライバシーの保護などについては、フロア会議などで定期的に勉強をしていく。ファイルの整理などは、随時整理整頓を行うように心がけていき、ファイルの分別などわかりやすいように整えていく。	